

Governor's Monthly Letter 2018-19

剣岳蒼天



- 2 ガバナー挨拶、ガバナー補佐新年あいさつ
- 4 第2回ガバナー会議報告、第2回ガバナーエレクト研修セミナー(GETS)参加報告、ガバナーノミニー研修セミナー(GNTS)参加報告、メジャー・ドナー顕彰午餐会報告、ロータリー研究会出席報告、2018-2019年度国際ロータリー会長ご夫妻並びにTRF管理委員ご夫妻の歓迎晩餐会報告、第1回地区国際青少年交換派遣学生オリエンテーション、富山南ロータリークラブ55周年記念例会、第2回ロータリーリーダーシップ研究会、ロータリー財団地域セミナー、米山記念奨学生・大学指導教官・カウンセラー三者セミナー年末懇親会、地区国際青少年交換派遣・受入学生合同オリエンテーション、グローバル補助金奨学生候補者面談会・第2回ロータリー財団委員会及び学友会報告会
- 9 例会出席報告(11月度)、1月行事予定
- 10 ロータリー財団・米山記念奨学会寄付者、11月会員移動、編集後記

職業奉仕月間

国際ロータリー第2610地区
2018-19年度 ガバナー事務所

2018-19 Governor 若林 啓介

〒930-0048 富山県富山市白銀町2-5 株式会社若林商店内
TEL 076-482-5584 FAX 076-482-5595
E-mail wakabayashi2018-19@rotary2610.gr.jp



2018-19 年度ガバナー

岩林 啓介

1月：職業奉仕月間に因んで

小生も含め、多くの日本人ロータリアンには、ロータリーの五大奉仕部門の中でも、「職業奉仕」に格別の拘りがあるように感じています。「職業奉仕の手引き」にも、「職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。」という記述があります。そこで、もう一度、現在RIの規定している「職業奉仕」とは何かを、お示しいと思います。

ロータリー章典 8.030. 職業奉仕の基本原則

8.030.1. 職業奉仕に関する声明

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想の実践をロータリーが培い、支援する方法である。「ロータリーの目的」第2項は職業奉仕の基礎として、具体的には、以下を奨励し、育む。

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事はすべて価値あるものとの認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

上記の職業奉仕の理想に本来込められているのは次のものである。

- 1) 雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人々や同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な扱い。
- 2) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

職業奉仕は、ロータリークラブとクラブ会員両方の責務であ

る。クラブの役割は、頻繁に職業奉仕を実践することによって、クラブ自身の行動に職業奉仕を応用することによって、模範となる実例を示すことによって、また、クラブ会員が自己の職業上の手腕を発揮できるようなプロジェクトを開発することによって、目標を實踐、奨励することである。クラブ会員の役割は、ロータリーの原則に沿って自らの行いと事業と職業を律すること、また、クラブが開発したプロジェクトに応えることである。

8.030.2. ロータリアンの行動規範 省略

8.030.3. 職業奉仕に関する重要なメッセージ

ロータリアン、クラブ、および地区は、職業奉仕の支援において以下の戦略を実施すべきである。

- 新会員の勧誘と入会において、職業と職業分類の重視を強化する。
- クラブの活動において職業を重視する手段を特定する。
- クラブおよび地区レベルのロータリーにおいて、高潔の精神でビジネス・ネットワークを広げる活動をさらに強調する。
- 新世代の勧誘と指導の手段として、高潔の精神でビジネス・ネットワークを広げる活動をさらに重視する。
- 「四つのテスト」と「ロータリーの行動規範」の関係、さらにこれらがロータリーの価値観においていかに重要かを強調する。

では、職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。以下にいくつかの方法をご紹介します。

- 例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- 地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす
- 高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- 若者のキャリア目標を支援する
- 専門能力の開発を奨励し、指導する

以上、職業奉仕の概念とその実践方法について記述しました。是非、今後のロータリー活動にお役立ていただければと存じます。

ガバナー補佐新年ご挨拶



石川第1分区分Aガバナー補佐

松本 要 (金沢南RC)

新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い申し上げます。

7月にスタートして早や半年が過ぎ、ガバナー補佐として暗中模索の中、各クラブに事前訪問・ガバナー公式訪問をさせて頂きましたが、皆さん夫々に歴史と伝統を尊重した独自の素晴らしい活動を行っておられ大変感動するものでした。

そして初めて体験させて頂きましたRLIは素晴らしい事業でした。後半にはRLIがより普及する様、皆さんにお伝えしてい

たいと思っております。そして国際ロータリー会長のテーマ『BE THE INSPIRATION』を努力したいと思っておりますので下半期も宜しくお願い申し上げます。



石川第1分区分Bガバナー補佐

永瀬 喜子 (白山石川RC)

もういくつ寝るとお正月…そんな風に新しい年を心待ちにした子供の頃。あの心弾むワクワクした感覚はいつだっていつから無くなったのであ

ろうか。

年を重ねる毎にたくさんの経験も重ねるのであるが、私のような凡人が巡り合う経験の範囲はたかが知れていて毎年期待感は薄れるばかり。そんな思いをしているのは私だけではないはず…。そこで、『Be the inspiration!』ロータリー活動にはまだまだ知らない事象が山のようにある。知的冒険、高潔な行動、限らない人間愛、等々。年の初めの今、未知の思考・行動の最中にある自分を思い描いてみよう!ロータリアンとしての新たな経験は必ず子供の頃に味わった新年のワクワク感を体感させてくれるに違いない。



石川第2分区ガバナー補佐

吉田 義明 (加賀白山RC)

新年明けましておめでとうございます。

昨年、各クラブに訪問させていただいた際には、大変お世話になりました。

さて、3月3日(日)「北前船の遺産を活かした観光まちづくり」をテーマに小樽商科大学の高野先生や地元のリーダーの方々を迎え、石川第2分区のIMが開催されます。

2017年、加賀市をはじめ明治に活躍した北前船の全国の寄港地が日本遺産に指定されました。しかし、いち早くこの遺産に気付いた北前船の最終目的地であった小樽市は昭和年代には年間200万人そこそこの観光客数だったものが、今では1000万人に届こうとしており全国の若い女性の人気スポットの一つになっています。小樽市が現在あるのは、北前船の遺産を生かした市民と行政が努力した「まちづくり運動」の結果だそうです。

加賀市や小樽市は北前船のルーツ地です。他には無い貴重な財産が眠っています。たとえば屋敷群や山中節など多数の財産があります。新幹線の延伸工事がピークを迎えた今、小樽の事例を学び、今後我々はどうあるべきかを考えてみるいい機会になればと思っています。

多くのメンバーの参加をお願いします。



石川第3分区ガバナー補佐

山田 外志勝 (七尾みなとRC)

新年明けましておめでとうございます。

7月から始まった新年度に石川第3分区の7つのクラブのガバナー補佐訪問、そして若林ガバナーと共に公式訪問、各クラブのご配慮に感謝申し上げます。おかげさまで無事終えることが出来ました。ありがとうございました。又、10月の地区大会にもたくさんのご参加をいただきありがとうございました。こののちは2月17日のIMを皆様と共に楽しく開催し親睦をはかっていきたいと思っています。

どうかよろしくお願い致します。



石川第4分区ガバナー補佐

竹中 登 (穴水RC)

RC会員の皆様、あけましておめでとうございます。日頃は何かと忙しさにとりまぎれて、顔を合わせる機会が少ない皆様には、新年をご家族と共に迎えられる事と思い、誠に喜ばしいかぎりでございます。

昨年は、石川第四分区5クラブのガバナー公式訪問。ガバナー補佐事前訪問につきまして、会員皆様にご協力いただきありがとうございました。昨年でもいくつかの課題をめぐって努力しているうちにあっという間に前期が過ぎてしまいました。幸いなことに、何とか一歩ずつ先進することが出来まして、あと半期となります。今年も、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

さて、「一年の計は元日に有り」と申します。気分を新たにスタートを切りたいと思うのでございます。気のおけない皆様と共に、地区クラブのこれからを会員の英知と努力で、クラブ目標を実現したいと思っております。

我がRC会員にも、そして、皆様のご家庭にも良いことが沢山ありますように願っております。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。



富山第1分区ガバナー補佐

長田 達明 (魚津西RC)

新年明けましておめでとうございます。

昨年7月以降、ガバナー補佐としてガバナー補佐訪問、ガバナー公式訪問等、会員の皆さんの協力のお蔭で、前期の事業を無事終了することができました。

また昨年、当クラブも設立五十年を迎え、新たなスタートをきっています。ガバナー補佐をお受けした時、任務を全うできるか不安でしたが、この半年間お蔭様でガバナー補佐としての多くの体験をさせて頂きました。この経験は、今後のロータリー活動を行う上で大きな財産になったものと確信しています。

富山第一分区は、3月にIMを予定しています。後期も会員の皆様と一緒に楽しく勉強し、さらに親睦を図っていきたく思いますので、皆さまのご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。



富山第2分区ガバナー補佐

澤田 悦守 (富山南RC)

2019年、新年を迎え心よりお慶び申し上げます。

昨年はRI会長のテーマ“Be the Inspiration”を旗印に第2分区10クラブを訪問させて頂きました。どのクラブも温かく受け入れて頂き深謝申し上げます。地区大会も会員の皆様多数ご出席して頂き大変盛大な大会となりました。

今年、新年は若林ガバナーの地区の方針“ロータリーを知ろう。知ってもらおう”を更に推し進める時期に入るかと思えます。地区と各クラブの連携を一層強化し、実りのある一年にしたいと考えております。

今後のご指導ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。



富山第3分区ガバナー補佐

穴田 茂 (新湊RC)

新年明けましておめでとうございます。今年は今上天皇が4月30日にご退位が予定され、人生においても1~2回しか経験出来ない新旧2つの元号の引継ぎが行なわれるメモリアルイヤーであります。

さて、年度前半を振り返って見ますと小生のような浅学非才な

者が補佐の仕事が務まるのかという不安で始まり、何とかがむしゅらにプログラムを消化してきたという想いです。これもひとえにホームクラブ、そして沢山の出会いの場を提供して下さった分区内、地区内の会員の皆様のご協力のお陰と感謝しております。年度後半の大きな山は3月2日(土)開催予定のIMであります。気を引き締めて残る任期を全うする覚悟であります。どうか今年も皆様のご協力を切にお願いいたします。



富山第4分区分会ガバナー補佐
八塚 昌俊 (高岡北RC)

新年あけましておめでとうございます。7月から始まった補佐訪問、ガバナー公式訪問、10月27日、28日に開催された地区大会も無事に終了し補佐としての責務の半分が無事に果たせたことは、皆さんのおかげと感謝いたします。

会員の皆様楽しく有意義な都市連合会を開催したく、実行委員会と共にプログラムを準備中です。多くの会員の皆様に参加していただき友情と親交を深めていただきたいと思います。簡単ではありますが、新年のご挨拶とさせていただきます。

2018-19年度 第2回ガバナー会議報告

11月19日開催

2018年11月18日(日)から21日(水)にかけて開催された第47回ロータリー研究会会期中の19日(月)午後、2018-19年度第2回ガバナー会議が開催されました。ガバナー会議は、1967年に日本ロータリー連絡委員会規定が定められて以来、名称と規約の変更を重ねて今日に至っています。第1・第2・第3ゾーンのガバナーをメンバーとし、議長は慣例として東京2地区のガバナーが交互に選出されています。顧問として日本選出の現、元RI理事が参加されます。ガバナー会議の運営は全国ロータリアン1人あたり年額200円の拠出金で賄われており、ガバナー間の連絡とロータリー諸活動の情報交換を主目的とし定例会議は年3回開催されます。日韓及びアジア親善会議など諸会合の連絡の窓口ともなっています。

今回の会議は、ガバナー会議議長RID2580松坂順一さんの司会により、RI理事の石黒慶一さん、三木明さんにもご出席いただき、全国34地区中33名のガバナーが参加し開催されました。議題は、前年度ガバナー会決算報告、各種組織(ロータリー文庫、国際ロー

タリー日本青少年交換委員会等)決算報告、第7回日台親善会議(福岡)について、日本のロータリー100周年ピンバッジについて、第7回全国インターアクト研究会について、第3回ガバナー会議日程、その他について討議されました。殆どが報告事項ですが、ガバナー会議からの要望事項として提出済みの、ロータリー文庫とロータリー研究会への拠出金の減額要望について検討されました。前者については、ロータリー文庫より拒否、後者については、引き続き要望していくということで、今回は幕引きとなりました。その他の議題で、当地区として、ガバナー事務所の固定化についての各地区の状況調査とその得失についての協力依頼をしました。第3回のガバナー会議は、来年2月20日、東京での開催と決定されました。

ガバナー会議は、決議機関ではありませんが、直近のRI理事会の動きや、他地区との情報交換の場としては大変に有意義なものと感じています。

2018-2019年度ガバナー 若林 啓介(富山RC)

第2回GETS(ガバナーエレクト研修セミナー)に参加して

11月19日開催



ロータリー研究会の晩餐会でパリーラシンRI会長と同期の仲間

11月19日、神戸で開催されたGETSに参加してまいりました。来年1月にサンディエゴで開催される国際協議会に参加する前の最後の研修です。今回のセミナーは、地区活動の現状を「健康チェック」という形で認識する、改善点を特定したら地区活動の短期・長期の目標を設定する、あるいは地区戦略計画に修正を加える、といったものです。残念ながら我が2610地区にはこれといった地区として目指すべき目標や計画がありません。皆様のクラブにも「クラブのロータリー活動はこうありたい」といった目標や具体的な数値目標がおありでしょうか?しっかりと組織化された団体においては、このような目標や計画が必要ではないかというのがRIの考え方です。18日から21日まで開催されたロータリー財団地域セミナーやロータリー研究会にも参加してロータリー漬けの日々でした。同期のガバナーエレクトと地区の現状についての意見交換が最大の成果であったように思います。

ガバナーエレクト 松本 耕作(金沢RC)

11月19日に神戸ポートピアホテルで開催されたガバナーノミニー研修セミナーに参加してまいりました。32地区のガバナーノミニーの内30名が参加され、9時からセミナーが始まりました。最初の内はお互いが緊張気味でのスタートでしたが、昼食後お互いに名刺交換などをし、地区間の話などで友好を深めました。セミナーの内容としては、短時間に多くの担当者が各パートの説明で、話を整理するのが大変でしたが、田中作次元RI会長のクラブの強化についてのお話が特に参考になり、内容を少しお話いたします。

【例会】

- 例会時間の厳守 —— 時間延長は、来訪者や会員に迷惑
- 繁盛な例会日の変更 —— 退会者を増加させる
- 例会欠席の多い会員 —— 気遣いとは対応は早めに実施する
- クラブ運営のマナー化 —— 常に独創的な例会の維持
- ゲストデーを設ける —— 全会員が交代で友人や会員候補者を例会に招待

もっと多くのお話が合ったのですが、特に上記の点について考え

させられました。

クラブに関するお話ですが、地区の運営においてもこの点を注意して運営するべきだと考えます。

また、ロータリーは人間形成の場です。これに関しては、セミナーに参加して多くの方々とお話ができ、実感したことでした。

簡単ですが、ご報告いたします。



ガバナーノミニー 八塚 昌俊 (高岡北RC)

メジャー・ドナー顕彰午餐会報告

ロータリー研究会に合わせて、例年「メジャー・ドナー顕彰午餐会並びにアーチ・クランフ・ソサエティ入会式」が開催されます。本年は11月19日昼に190名余りが参加して執り行われました。「メジャー・ドナー顕彰」と謳っているので、ロータリー財団へ1万ドル以上寄付したロータリアンとそのパートナーのための昼食会のようなのですが、多分、寄付額に関わらず出席できると思います。

例年昼食会の前に、RI会長夫妻・ロータリー財団管理委員夫妻とのテーブル毎(9名)の記念撮影会がおこなわれますが、今年は、RI会長夫妻の到着が遅れたために、財団管理委員長代理のマリオ・セザール・デ・カマルゴ夫妻との撮影となりました。小生は、メジャー・ドナー1回だけなので、やや肩身が狭く、メジャー・ドナーの四角のピンも身に着けませんでした。やはり、ピンには、

ダイヤが複数個入っていないと、この場では何となく格好が良くない感じです。写真は、左側からポール・ハリス・フェロー (PHF) 2回目、PHF 6回目、そして、メジャー・ドナー1回目のピンです。



「アーチ・クランフ・ソサエティ (AKS)」のメンバーになるには、25万ドル (約2,700万円) 以上の累積寄付金額が必要です。本人が希望すれば、日本ではなく、エバンストンのRI本部、あるいは国際大会で開催される入会式に参加することができます。今回は、細井保雄さん、丸尾研一さん、田島敏久さん、若林紀男さんがAKSに入会されました。大したものだと思います。

ロータリー財団への寄付は、所得控除や税額控除になるので、高額納税者の方には、特にAKS入会をご検討いただく価値があるのではないかと思います。小生は、とてもAKS入会はできませんので、せめて、いつの日かダイヤモンドが複数個付いた四角のピンを着用して、この午餐会に参加したいものだと思います。

2018-2019年度ガバナー 若林 啓介 (富山RC)



ロータリー研究会 出席報告

11月19～21日開催

11月19日～21日に、神戸で開催された会議に出席し、バリールンシンRI会長のスピーチを聞く機会に恵まれました。

ラシン会長は「研究会は、ロータリーの活動成果を祝うとともに、めまぐるしく変わる世界に適應し、成長して行く方法を検討する機会です。次年度だけでなく、その先も視野に入れて計画を立てる場となります」と言われ

ました。そして「①会員の維持の大切さ。②ロータリーの奉仕活動を広く知ってもらおう。③ロータアクトクラブの倍増を目指そう。④日本の女性会員の少なさに失望している。⑤時代にあった奉仕活動を見つけよう。⑥ロータリーは平和な世界の縮図であり各国がこれを模範とすれば、平和が訪れます」と説かれました。

パストガバナー 下口 幸雄(加賀RC)



2018-2019年度国際ロータリー会長ご夫妻、並びに TRF 管理委員ご夫妻の歓迎晩餐会

11月19日開催

2018-2019年度、国際ロータリー会長ご夫妻並びにTRF管理委員ご夫妻の歓迎晩餐会は11月19日、第47回ロータリー研修会プログラム開始前日に大輪田ホールで開催されました。

参加者が席に着くと、RI会長夫妻、TRF管理委員夫妻がエイド先導で入場され、参加者一同は起立、大きな拍手でお迎えしました。

オープニングは地元生田神社(鎮座1800年)独特の巫女舞で装束は平安時代の宮廷衣装をもとにしたものです。ご歓談中のBGMは秋満 義孝氏によるピアノ演奏が静かに流れていました。

石黒RI理事の来賓紹介に続き「今夜は懇親の夕べを、ゆっくりお楽しみ頂きたい」と歓迎の言葉を述べました。

パストガバナー 津田 達雄(砺波RC)



第1回地区国際青少年交換派遣学生オリエンテーション開催報告

11月10日開催

平成30年11月10日(土)に2019年夏から一年間、当地区から海外へ派遣予定の学生を集め、第1回オリエンテーションが石川県国際交流協会(金沢市内)で開催されました。派遣予定の学生は総勢11名(石川県8名、富山県3名)です。第1回のオリエンテーションは学生の保護者の方にも参加を頂き、申請書の書き方や交換プログラムの目的、概要について説明が行われました。

学生の中には既にこのプログラムで兄や姉が留学経験をしている

方や、全く周りに留学経験者がいない方など留学に関する境遇は様々ですが、本人にとっては初めての留学とあって真剣に説明を聞いていました。最後に各自英語でスピーチをして頂きましたが、緊張しながらも素晴らしいスピーチで留学に対する意欲が感じられました。当委員会としても、彼らが留学するまでの期間、オリエンテーション等を通じしっかりサポートしてまいります。

国内青少年委員会 松本 仁(金沢西RC)

富山南RC 創立55周年記念例会・祝賀会開催

11月16日開催

11月16日、電気ビルにて、富山南ロータリークラブは創立55周年記念例会を行いました。

記念例会・祝賀会には、2610地区若林ガバナー、澤田ガバナー補佐、毛利地区幹事や富山第2分区の会長・幹事もご出席をいた



だき、友好クラブの那覇南RCから石川会長他3名、高松南RCから篠田会長他2名のメンバーに遠路ご参加いただきました。

2003年那覇南RCと、2013年には高松南RCと友好RCを締結しており、本年は5年ごとの更改年となることから、記念例会の席で更改をご披露いたしました。

また、周年記念事業の一環として、地区にポリオ撲滅の寄付を行い、若林ガバナーに目録を贈呈しました。祝賀会では五箇山民謡の余興などが披露され、大いに盛り上がり、ロータリアン同士の友情を深めました。先の50周年記念例会では当時の澤田会長が南RCのNEXT50(次の50年目標)として、ロータリーの原点を忘れないで活動を続けようとしており、今後もその精神を大切にしていきたいと思ひます。

会長 芝田 実(富山南RC)

第2回 ロータリーリーダーシップ研究会開催報告

11月3日開催

去る11月3日の文化の日に、石川県地場産業振興センターにて第2回ロータリーリーダーシップ研究会が行われた。祭日にも関わらず受講者45名、岡部カウンセラー始め役員4名、ディスカッションリーダー10名の計59名が参加した。前回に引き続き若林ガバナー、八塚ガバナーノミニ、永瀬ガバナー補佐が受講され、新たに永田バスターガバナーも席を同じくされた。会場は「ロータリーをもっと知ろう」とするロータリアンの熱気で盛り上がった。

参加者のクラブの役職は現会長8名、会長エレクト11名、バスター会長4名、副会長2名、理事役員15名などであった。

米国で「卒業」を「コメンズメント・エクササイズ」と言う。直訳すると「実習の始まり」であり、生涯現役を貫いた故日野原重明氏の好んだ言葉であった。如何なる役職に就こうとも、それはあくまで次のステップの準備期間であり新たな実習が始まる。すなわち私たちは生涯学び続けることが大切なのではなかろうか。

RLI委員長 柳生 好春(野々市RC)



ロータリー財団地域セミナー

11月18日開催

11月18日(日)10時から神戸ポートピアホテルで国際ロータリーゾーン1,2&3ロータリー地域財団セミナーが行われました。昨日の第2610地区のグローバル補助金奨学生候補者面談会・財団委員会・学友会報告会に引き続き、ロータリー財団関連行事の週末

となりました。折しも神戸マラソンと開催と重なり、会場への道中には応援する人々が溢れていました。

セミナーは特にDDF(地区財団活動資金)の用途、平和フェローと国際ロータリー平和センター、ポリオ撲滅活動、グローバル補助金の活用報告、大口寄付状況に重点がおかれた内容でした。また来日された国際ロータリアンアメリカ本部の補助金日本担当責任者の Steven Sundstrom 氏にお会いする事も出来て大変充実した1日となりました。学んだ事を第2610地区のロータリー活動に活かして参りたいと思ひます。参加させて頂いたことに感謝申し上げ、筆を置かせて頂きます。

地区ロータリー財団委員長 中村 哲郎(金沢RC)



米山奨学生・大学指導教官・カウンセラー 三者セミナー、年末懇親会開催

12月1日開催

12月1日、大学関係者様とカウンセラー様、そして奨学生の三者セミナー開きました。以下その時に頂いた米山に対してのあれこれです。

大学関係者様より

- ・奨学生応募の通知を早く欲しい、夏休みに入るため学生が見ていない。
- ・例会を知らない、知らないからサポートできない。
- ・学部生と大学院生では生活ライフが違う。
- ・奨学金を下げて人数を増やすなどのオプションが欲しい。
- ・例会の場所・時間・曜日などを決める時相談させてほしい。
- ・奨学生の行事・出欠状況を知りたい。

奨学生より

- ・米山を知らない人が多い、広告などを使っては。
- ・訪問卓話の内容を決める。
- ・奨学生への連絡はSNSを使った方が良い。
- ・奨学生としての活動は、奉仕活動をしたい。
- ・奨学生とロータリー会員との交流が足りないと思う。

・職場訪問などに一緒に行きたい。
カウンセラー様より

- ・奨学金の使われ方は学業中心か
- ・奨学生に米山事業の大事さをもっと伝える。
- ・車を持っている人が増えたが、保険加入の確認は絶対。

いろいろな言葉を頂きました。三者の連絡をもっと密にしてより良い米山に進んで行きたいと思います。実のあるセミナー、そしてこの後の懇親会でした。

地区米山記念奨学会委員長 村中 高次郎 (河北南RC)



地区国際青少年交換派遣・受入学生 合同オリエンテーション

12月1・2日開催

12月1、2日に第2回オリエンテーションが行われました。派遣学生の自己紹介では受入学生による「英語チェック」を行いました。RとLの発音の違いや複数形の使い方などを指摘され、大変勉強になりました。次のディスカッションではROTEXに参加してもらい、派遣学生の留学までの準備や心構えなどを教わりました。受入学生は今後の留学生生活を充実させるために今までの経験を元に互いにアドバイスしました。

2日目は受入学生と派遣学生が小グループに分かれて海外の様々なトピックについて話し合いました。日本からのお土産には

ブラックサンダー(チョコレート菓子)が美味しいからアメリカでは喜ばれることや、アメリカでは携帯電話に依存するよりグループで会話することに価値を置かれるなど文化の違いを学びました。そして、派遣学生はディスカッションの内容を英語でプレゼ

ンテーションしました。思ったことをなかなか伝えられないもどかしさを体験しました。最後にオーストラリアに帰国するケイティに寄せ書きをし、再会を誓いました。

地区国際青少年交換委員会は
山岸 晋作(金沢RC)



グローバル補助金奨学生候補者面談会 第2回ロータリー財団委員会及び学友会報告会

11月17日開催

11月17日(土) 10時30分からグローバル補助金奨学生候補者の面談会がANAクラウンプラザホテル金沢で行われました。金沢医科大学の林助教のボストン大学での膜性腎症の研究が若林ガバ

ナーはじめ湯浅カウンセラー、松本エレクト、八塚ノミニーによりロータリー財団本部への推薦を決定して頂きました。その後の財団委員会では林助教の推薦の報告、スケジュールの確認、グローバル補助金・地区補助金の取組みの報告が行われました。正午から始まった学友会報告会には29名が参加され、近況報告を行いながら和やかで温かい雰囲気であつたという間に2時間が経ってしまいました。来年11月9日(土)の開催をお知らせし、名残惜しく解散となりました。ご多用の中、遠方よりご参加頂いた学友の皆様にご心より感謝申し上げます。

地区ロータリー財団委員長 中村 哲郎(金沢RC)



例会出席報告 (11月度)

2018年11月末日現在

分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)			分区	クラブ名	出席率 (%)	当月順位	通算出席率 (%)	通算順位	会員数 (人)		
						期初	月末	増減							期初	月末	増減
石川第1分区A	河 北	84.26	22	79.60	35	26	27	1	富山第1分区	朝 日	75.75	42	70.79	55	23	24	1
	河 北 南	79.00	33	74.60	45	25	25	0		黒 部	68.18	55	74.21	47	11	11	0
	金 沢	90.46	8	90.52	10	118	132	14		黒部中央	75.00	43	78.05	40	23	24	1
	金 沢 東	81.41	29	81.00	32	103	110	7		入 善	75.00	43	74.16	48	7	6	-1
	金沢香林坊	78.13	37	82.29	29	114	117	3		宇 奈 月	72.18	49	73.43	49	21	20	-1
	金 沢 南	87.65	16	88.43	16	55	56	1		魚 津	72.34	48	76.29	43	29	32	3
	6 R C	83.49	4	82.74	4	441	467	26		魚 津 西	75.92	41	79.53	36	28	28	0
石川第1分区B	白 山	73.27	47	74.26	46	38	38	0	7 R C	73.48	8	75.21	9	142	145	3	
	白山石川	84.05	23	79.07	37	34	35	1	富山第2分区	越 中 八 尾	87.50	17	88.58	14	23	24	1
	金沢百万石	59.18	61	59.06	63	46	43	-3		上 市	70.00	53	71.58	54	18	20	2
	金 沢 北	74.29	46	71.75	52	45	48	3		立 山	65.78	60	63.62	62	18	19	1
	金沢みなと	79.45	31	77.86	41	45	48	3		富 山	67.38	56	76.27	44	101	104	3
	金 沢 西	85.78	20	86.21	19	46	50	4		富山シティー	57.32	63	59.03	64	81	82	1
	野々市	83.82	24	82.97	26	41	42	1		富 山 南	70.54	51	66.10	57	58	60	2
7 R C	77.12	6	75.88	7	295	304	9	富山みらい		66.23	59	73.39	50	77	77	0	
石川第2分区	加 賀	88.98	15	92.03	7	60	60	0	富 山 中	82.68	26	82.54	28	60	61	1	
	加賀中央	86.72	19	89.07	12	33	31	-2	富 山 西	93.47	5	94.13	4	63	65	2	
	加賀白山	89.81	11	92.28	6	26	28	2	富山大手町	77.85	38	80.82	33	52	54	2	
	小 松	76.79	39	78.19	38	54	55	1	10 R C	73.88	7	75.61	8	551	566	15	
	小 松 東	79.14	32	76.34	42	35	36	1	富山第3分区	射 水	87.38	18	89.51	11	32	31	-1
	小松シティ	84.72	21	80.14	34	35	36	1		東となみ	78.59	35	72.87	51	20	18	-2
	能 美	89.35	14	88.98	13	56	55	-1		新 湊	82.71	25	82.23	30	43	44	1
山 中	66.66	58	64.52	60	21	19	-2	新湊中央		76.47	40	71.71	53	13	15	2	
8 R C	82.77	5	82.69	5	320	321	1	高 岡		100.00	1	100.00	1	73	76	3	
羽 咋	89.74	12	83.14	24	26	26	0	高岡万葉		98.03	4	98.26	3	72	72	0	
中能登まほろば	70.59	50	83.44	23	16	17	1	砺 波		89.36	13	91.01	9	51	51	0	
石川第3分区	中 島	66.67	57	84.67	21	10	10	0	7 R C	87.51	1	86.51	1	304	307	3	
	七 尾	74.99	45	78.15	39	47	49	2	富山第4分区	氷 見	82.56	28	83.83	22	43	43	0
	七尾みなと	78.76	34	85.41	20	49	51	2		氷見中央	70.46	52	65.01	59	14	14	0
	志 賀	57.90	62	63.71	61	17	19	2		南 砺	91.59	6	88.37	17	47	47	0
	富 来	55.53	64	65.66	58	14	15	1		小 矢 部	89.82	10	86.85	18	38	38	0
	7 R C	70.60	9	77.74	6	179	187	8		小矢部中	90.90	7	92.02	8	45	45	0
	穴 水	82.68	26	82.71	27	14	15	1		高 岡 北	81.16	30	83.14	25	40	40	0
能 都	100.00	1	88.44	15	38	40	2	高 岡 西		100.00	1	100.00	1	52	53	1	
石川第4分区	珠 洲	78.41	36	81.77	31	22	21	-1	7 R C	86.64	2	85.60	2	279	280	1	
	内 浦	68.60	54	68.35	56	16	17	1	64 R C 合計	79.94		80.54		2,630	2,700	70	
	輪 島	90.32	9	93.28	5	29	31	2									
	5 R C	84.00	3	82.91	3	119	124	5									

1月行事予定

日 時	行事予定	場 所	備 考
1月(職業奉仕月間)			
12~19日	(土~土) 国際協議会	米国カリフォルニア州サンディエゴ	
13日	(日) インターアクト台湾研修旅行第2回事前研修会	高岡市生涯学習センター	13:30~16:00
中旬	地区国際青少年交換受入学生(オーストラリア)出迎	成田	
26日	(土) 地区国際青少年交換受入学生(オーストラリア)来日オリエンテーション		
26日	(土) 第3回ロータリー財団委員会 補助金管理セミナー	富山県民会館	10:30~12:00

R 財団寄付者

ベネファクター

小松シティ 高見 恵子 11月27日

メジャードナー

金沢 瀬戸 和夫 11月13日

使途指定寄付

俱利迦羅不動寺刀剣展示会ポリオプラス
河北南 10月30日～11月5日

ポリオプラス \$1000

松本 要 11月27日

年次基金 \$1000

能美 RC 11月28日

ポリオプラス

インターアクトクラブ 富山県立砺波工業高校 11月1日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

能美 深田 章 11月28日 2回

能美 北野 哲 11月28日 1回

能美 秋田 順孝 11月28日 1回

七尾 勝山 一 11月26日 1回

七尾 佐原 博之 11月26日 1回

富山西 中尾 哲雄 11月16日 1回

高岡 金森 健祐 11月19日 2回

氷見中央 桶 茂行 11月20日 5回

高岡北 田辺 千秋 11月20日 4回

高岡北 金田 恒幸 11月20日 3回

ポール・ハリス・フェロー

金沢南 祖泉 信宏 11月27日

能美 岡崎 大伸 11月28日

能美 杉本 昌之 11月28日

七尾 南 佳憲 11月26日

高岡 福田 剛平 11月19日

高岡 二口 真 11月19日
高岡 千田 祐司 11月19日
高岡 菅野 克志 11月19日
高岡 高木 章裕 11月19日

米山記念奨学会寄付者

米山功労者 メジャードナー

高岡西 荻布 善亮 11月15日 12回

米山功労者 マルチプル

七尾 濱 暉元 10月29日 4回

七尾 勝山 一 10月29日 1回

新湊 穴田 茂 11月28日 6回

高岡西 浅野 博 11月15日 3回

高岡西 本田 準一 11月15日 2回

米山功労者

七尾 村田 成司 10月29日 1回

七尾 南 佳憲 10月29日 1回

クラブ扱い特別寄付

高岡RC 普通寄付73名(7月会員数)
438,000円 11月13日

会員異動

《入会》

金沢 小林 繁 11月28日

金沢 松田 光司 11月28日

金沢東 鍋谷 一貴 11月12日

金沢東 小西 敏雄 11月19日

金沢東 中井 弘之 11月19日

金沢東 塩村 秀樹 11月19日
金沢香林坊 宮谷内雄一 11月5日
金沢北 今村 則昭 11月1日
金沢みなと 相良 明宏 11月6日
金沢みなと 巽 陽一 11月6日
小松シティ 宮本 賀章 11月5日
七尾みなと 飛 要 11月6日
内浦 藪下 節也 11月8日
朝日 寺西 泉 11月14日
魚津西 木村 知恵 11月27日
富山 矢野 茂 11月27日

《退会》

金沢南 齊藤 利明 11月30日

加賀中央 米村 規広 11月30日

加賀中央 納谷 聖子 11月30日

小松シティ 熊田 雅巳 11月4日

山中 井場 健仁 11月20日

魚津西 富川 義隆 11月27日

富山 宮川 孝則 11月6日

富山大手町 西田 伸弘 11月8日

ご冥福をお祈りいたします



田中 實(山中RC)
11月24日(享年80歳)
(株)My 箸本舗 社長
ロータリー歴23年



池岸 弘(能都RC)
11月18日(享年90歳)
土地家屋調査士
池岸司法書士事務所代表
ロータリー歴28年

お詫びと訂正

ガバナーマンスリー Vol.6のP8 会員移動《退会》の欄にて誤りがありました。

正しくは「七尾みなとRC 吉井 浩(誤) ⇒ 吉井 治(正)」です。訂正してお詫び申し上げます。

編 集 後 記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

早いものでガバナーマンスリーも第7号の発行を迎えることとなりました。地区各委員会そして各クラブの活動をお伝えすることを通して、クラブ員相互のコミュニケーションの促進を図りたいとの思いで編集しておりますが、至らぬ点多々あると思います。皆様のご意見ご指摘をいただければ幸いです。

さて、ガバナーマンスリー No.5の編集後記で「立山は富山県民の『原風景』である」と書いたが、今回の表紙を飾っている剣岳も立山と並ぶ富山の名峰。標高こそ2,999mと3,000mには届かないが、その姿は氷雪で削り出された美しい岩峰で、北アルプスの盟主と呼ぶにふさわしい。

登山史としての初登頂は、1909年吉田孫四郎パーティにより長次郎谷から行われているが、その2年前、すでに陸軍参謀本部陸地測量部の柴崎芳太郎たちが測量のため登頂している。柴咲たちの登頂については新田次郎が「剣岳・点の記」として小説に描き、2009年に木村大作監督によって映画化されている。また、国内トップクラスのロッククライミングのゲレンデとしてさまざまな登路、登攀ルートが開拓されてきた。1923年には今西錦司、西堀栄三郎などの京大パーティによるチンネやクレオパトラ・ニードル登攀などの難ルートが登られてきた。クライマー達の人気のある山であるがゆえに事故も多く、1966年に日本で初めて積雪期登山の届出条例が制定されている。



剣岳

剣岳を舞台にした小説には前述の「剣岳・点の記」のほかにも、同じく新田次郎作の「チンネの裁き」という著作もあるので、興味のある方はぜひ読んでいただきたい。

ガバナー月信担当 地区副幹事
江川 正光(富山RC)